

# 南町調節池の大規模工事について

## 工事概要

### 1. 工事期間

2023年冬頃～10年間程度

### 2. 目的

台風やゲリラ豪雨等の大雨による石神井川の氾濫を防ぐため。

### 3. 工事内容

・南町調節池(現:柳沢児童広場)、東伏見公園、武蔵野中央公園の3ヶ所に深さ30メートルのたて穴を掘る。

↓

・その3つのたて穴を、直径15メートルの地下トンネルでつなぎ、巨大な貯水タンクをつくる。

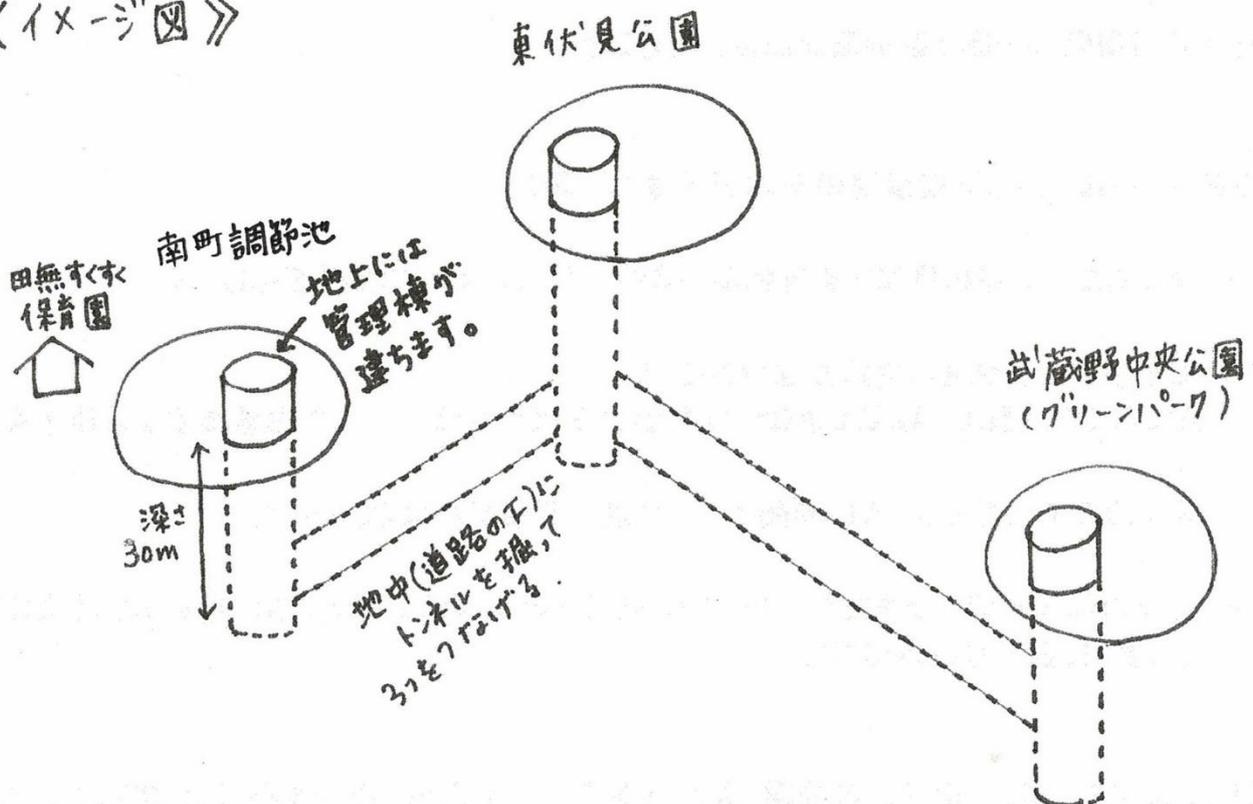
↓

・このトンネル状のタンクに、石神井川と南町調節池に入りきれない雨水を入れて、川の氾濫を防ぐ。

↓

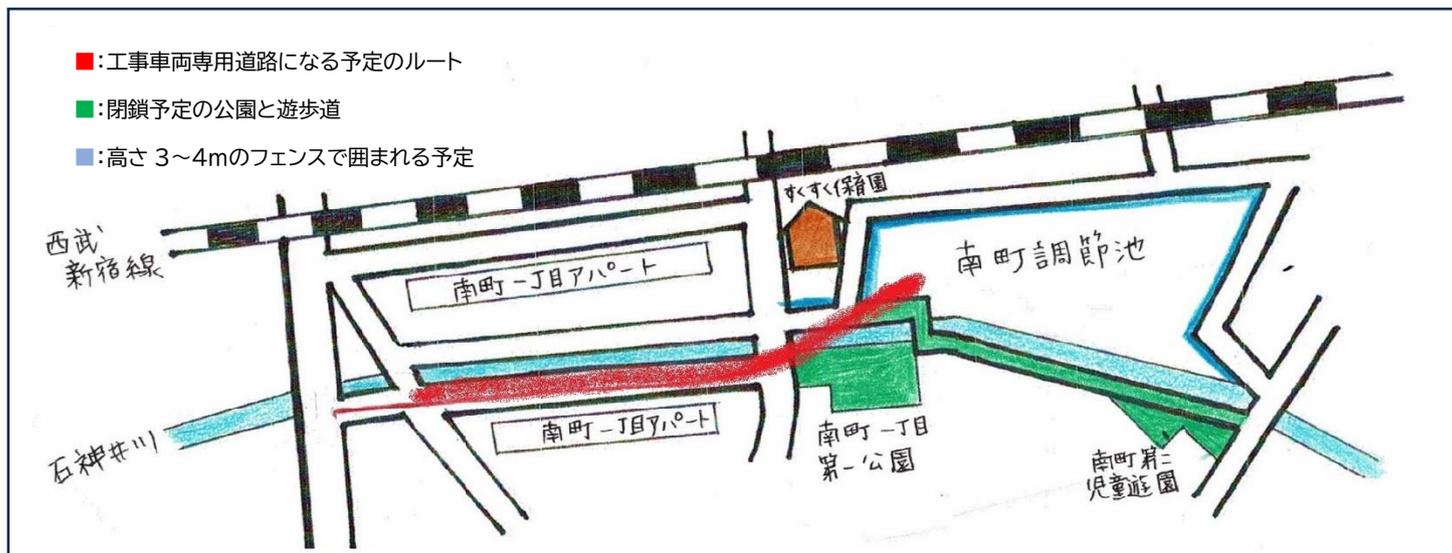
・雨がやんだら、ポンプでタンク内の水をくみ上げて川に戻す。

## 《イメージ図》



## 影響・懸念

- ① 保育園の横にて朝8時から夕方6時まで、途中から夜8時までの工事時間。  
地下トンネル部分は24時間作業で掘削工事が進められること。
  - 工事の騒音と振動
- ② 南町調節池に工事用のダンプ・トラック等を通すため、石神井川沿いに工事車両専用道路がつくられ、1日平均120台、最大380台の大型車両が通過すること。



- 工事車両の騒音・振動・排気ガスによる影響
  - 散歩や登降園時の安全性に対する不安
- ③ 石神井川南側の公園と遊歩道が閉鎖されること。
  - ④ 石神井川沿いと公園・遊歩道の樹木が伐採されること。
    - 子どもたちが毎日目にする景色から緑が失われ、保育環境が悪化します。
    - お散歩ルートや遊ぶ場所がなくなります。  
特に遠くの公園まで移動できない低年齢の子どもたちは日常的にお散歩する場所を失います。  
高年齢の子どもたちも、短い時間ですぐに遊べる場所がなくなります。
    - 近隣の保育園の子どもたちにとっても同じくお散歩場所が減るため、他の公園が混雑し思うように遊べなくなります。
  - ④ 調節池および石神井川沿いの公園・遊歩道周辺の工事領域が高さ3~4メートルのフェンスで囲まれること。
    - 細い遊歩道が西武線の土手とフェンスに挟まれ、完全に周囲からの視線が遮られ犯罪誘発の危険性が高まります。